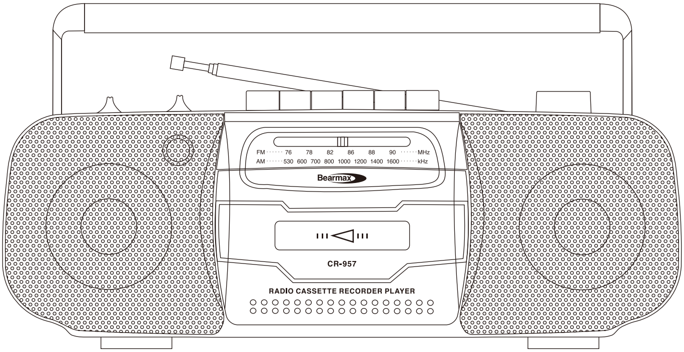
取扱説明書

ラジオカセットレコーダー

シー･アール

商品型番：CR-957



このたびは Bearmax「ラジオカセットレコーダー｜CR-957」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しております。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

© 株式会社クマザキエイム

■目次

目次 …… 2
安全のために …… 2～3
主な仕様 …… 3
付属品を確かめる …… 4
お手入れの仕方 …… 4
各部の名称 …… 5
準備する …… 6
ラジオを聴く …… 7
おやすみラジオを使う …… 8
テープを聴く …… 9～10
マイクを使う …… 11
録音する …… 12～17
故障かな？と思ったら …… 18～19
保証とアフターサービス …… 20

■安全のために

※本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、間違った使い方をすると火災や感電などにより人身事故になる事があり危険です。
※事故を防ぐ為に次のことを必ずお守りください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】
△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⊘ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

●交流100V以外の電圧では使用しない
自動車、船舶などの直流電源には使用しないでください。火災・故障の原因となります。

●海外では使用しない
海外で異なった電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

●コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●電源コードを傷つけない
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。

●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにし、水がかかるような場所では使わないでください。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

●内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものは入れない
火災・感電の原因になります。

●ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
差込が不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

●雷が鳴ったら屋外で使わない
落雷の恐れがあります。遠くで雷が鳴り出したときは、すぐにアンテナをたたんで使用を中止してその後は触れないでください。

●雷が鳴ったらアンテナや電源プラグに触れない
感電の原因になりますので触れないでください。

●乾電池は同一の新品を使用
仕様の異なる電池や使用した電池を混ぜて使用すると、液漏れにより汚損や故障の原因になります。

●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料）。そのまま使用すると火災等の原因となります。

■安全のために（つづき）

⚠ 注意

●放熱を妨げない
内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。背面の放熱孔をふさがないようご注意ください。

●ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下しケガ・故障の原因になります。

●幼児の手の届く場所に置かない
カセットドアなどに手をはさみ、ケガの原因になることがあります。

●温度の異常に高い場所で使用しない
また、通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

●駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない
樹脂部品が変形する原因になります。

●電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

●ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●電源コードを接続した状態で移動しない
コードが傷つき火災や感電の原因になります。また引っかかってケガの原因になります。

●アンテナを伸ばしたまま持ち運ばない
アンテナがものに引っかかったり、当たったりして、けがの原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

●電池は正しく取り扱う
・＋－は正しく入れてください。
・長時間使用しないときは取り出してください。

●電池は誤った使い方をしない
・加熱、分解したり、水、火の中に入れないでください。
・ネックレスなどの金属物と一緒にしないでください。
・乾電池の代用として充電式電池を使わないでください。
・被覆のはがれた電池は使わないでください。取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚損の原因になります。
・万一液漏れが起こったら、販売店に相談してください。
・液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
・小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。
・火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
・指定された種類以外の電池は使用しない。

■主な仕様

電源	AC100V 50/60Hz、DC6V（単一乾電池 4 本使用）
最大消費電力	10W
実用最大出力	3W + 3W
スピーカー	ユニット直径 8.5cm x 2、モノラル
受信周波数	FM: 76 ～ 90MHz、AM: 522 ～ 1620kHz
最大外形寸法（約）	幅 : 370 × 奥 : 125 × 高 : 140mm
質量（約）	1.7kg ※乾電池含まず
電源コード長（約）	1.5m
乾電池持続時間（約）	テープ再生時 45 時間、ラジオ受信時 40 時間 ※アルカリ乾電池使用、音量センター時の目安です。

※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

■付属品を確かめる

箱を開封したら、以下の物が同梱されているかお確かめください。

① 本体　② マイク　③ マイクケーブル　④ 電源コード　⑤ 取扱説明書（本誌）

■お手入れの仕方

※クリーニングの前に必ず電源プラグを家庭用コンセントから抜いてください。

■本体

乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞って拭いてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。（変色や変質の恐れがあります。）

■カセットレコーダー部のクリーニング

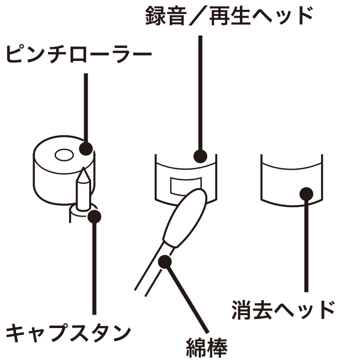
カセットテープを良い音でお楽しみ頂くために、ヘッド・ピンチローラー・キャプスタン（カセットレコーダー部）をいつもきれいにしてください。これらが汚れていると、音が歪んだり、小さくなったり、録音できないなどの現象が起こります。さらにテープが絡まり、テープにダメージを与える場合があります。このようなときは、次の手順で清掃してください。

1.【停止／取出しボタン】を押してカセットドアを開けてください。カセットテープが入っているときはテープを取り出します。

2. 綿棒に市販のヘッドクリーニング液を少し含ませ、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンをていねいに拭いてください。

3. ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンが乾いてから、カセットテープをご使用ください。

<カセットレコーダー部>

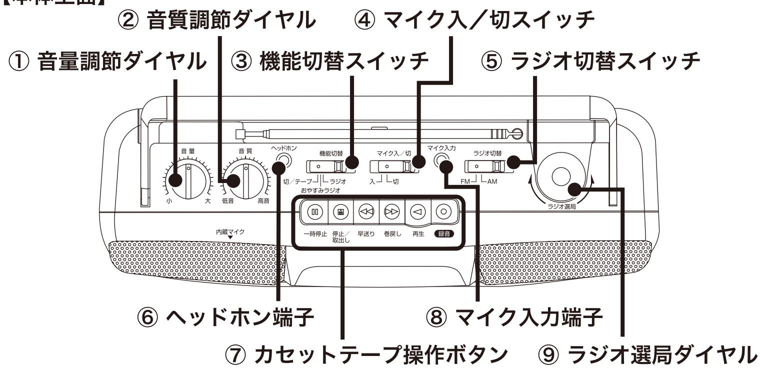


■結露について

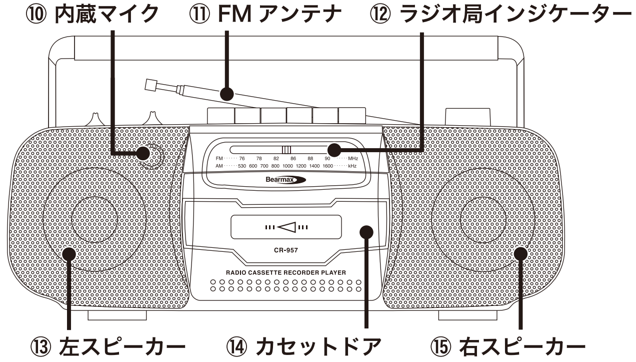
本体を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本体の性能が発揮できなくなることがあります。このような場合は、１時間ほど放置をするか、徐々に室温を上げてから使用してください。

■各部の名称

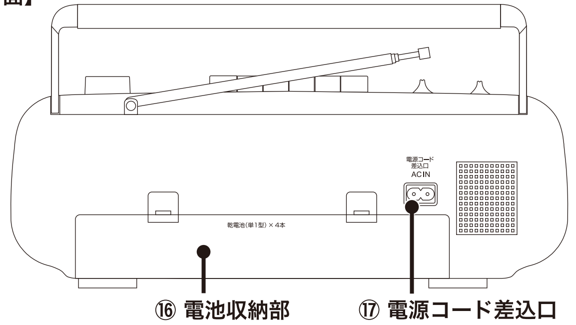
【本体上面】



【本体前面】



【本体背面】

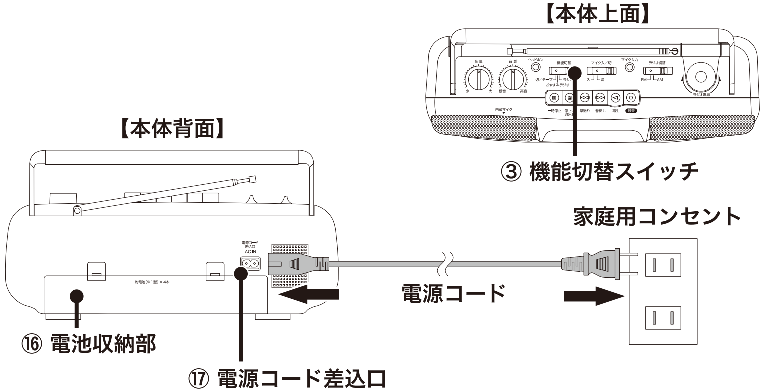


■準備する

■本体を定位置に置いて使用する場合

付属の電源コードを本体の電源コード差込口にしっかりと差し込んでください。電源プラグをコンセントに差し込み、機能切替スイッチで【テープ／ラジオ】に切替え、本体を使用してください。

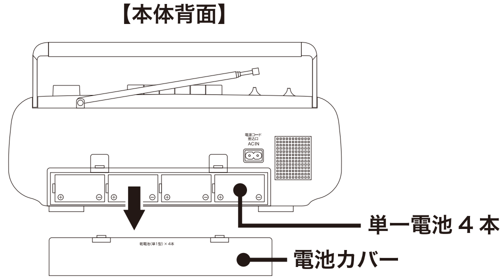
※電源コードを使用するときは、電池を必ず抜いて（電池収納部が空の状態で）使用ください。



■本体を不定位置で使用する場合

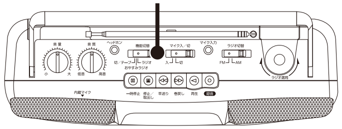
単一電池を 4 本準備してください。電池カバーを開け、電池収納部に単一電池４本を入れてください。

※電池の向きに注意して入れてください。

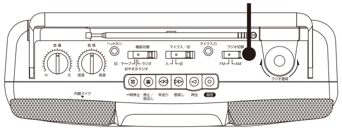


■ラジオを聴く

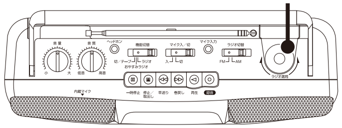
1. 機能切替スイッチを【ラジオ】に合わせてください。



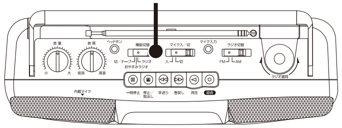
2. ラジオ切替スイッチで【FM】あるいは【AM】に合わせてください。



3. ラジオ選局ダイヤルを使い、聴きたい局に合わせてください。

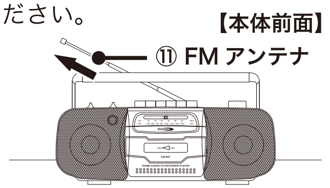


4. 機能切替スイッチを【テープ】に合わせると電源が切れます。

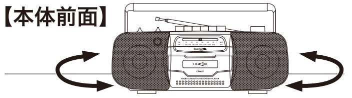


■受信状態を良くするには

FM ラジオの場合、FM アンテナを伸ばして向きを変えてください。



AM ラジオの場合、電池を使用して本体を最も受信状態の良い方向へ向けてください。



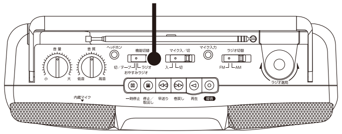
※電池を使用することによりノイズが軽減する場合がございます。

■おやすみラジオを使う

テープの走行が止まるとラジオが自動的に切れる機能です。ラジオを聴きながら眠りたいときに便利です。

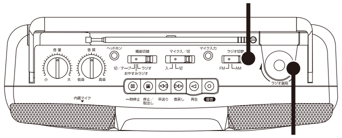
1. 機能切替スイッチを【ラジオ】に合わせます。

【本体上面】 ③ 機能切替スイッチ



2. ラジオ切替スイッチで【FM】あるいは【AM】に合わせます。
   ラジオ選局ダイヤルを回し、聴きたい局に合わせてください。

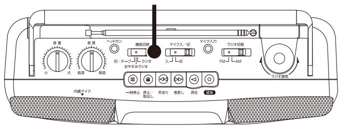
【本体上面】⑤ ラジオ切替スイッチ



⑨ ラジオ選局ダイヤル

3. 機能切替スイッチを【おやすみラジオ】に合わせます。

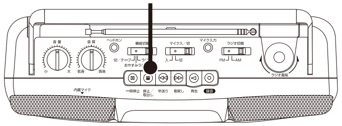
【本体上面】 ③ 機能切替スイッチ



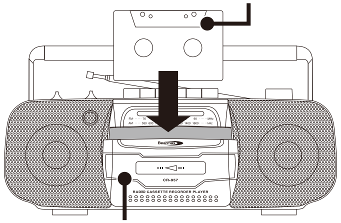
4.【停止／取出しボタン】を押して、テープを入れてください。

   ※テープは、TYPE1（ノーマル）をお使いください。また、60分以上の長時間テープは使わないでください。

【本体上面】 停止／取出しボタン



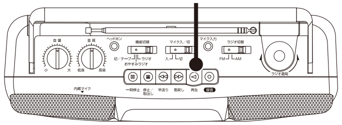
【本体前面】 露出面を上に



⑭ カセットドア

5.【再生ボタン】を押すと、ラジオが鳴出します。テープの終端まで来ると、テープの走行が止まり、電源が切れます。【再生ボタン】は自動的に上がります。

【本体上面】 再生ボタン

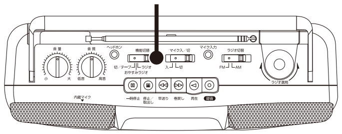


ご注意： マイク入／切スイッチを【入】のまま使うと、この機能は働きません。
必ずマイク入／切スイッチを【切】にしてご使用ください。

■テープを聴く

1. 機能切替スイッチを【テープ】に合わせます。

【本体上面】 ③ 機能切替スイッチ

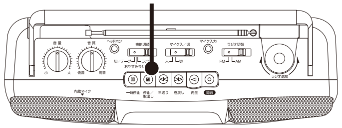


2.【停止／取出しボタン】を押して、カセットドアを開けてカセットテープを入れます。

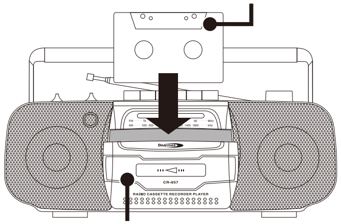
   ※テープは、TYPE1（ノーマル）をお使いください。また、60分以上の長時間テープや、古いテープは絡まりやすいので使わないでください。

   ※テープの弛みを直してから、お使いください。

【本体上面】 停止／取出しボタン



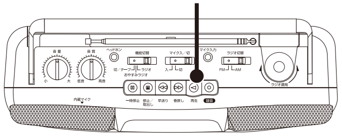
【本体前面】 露出面を上に



⑭ カセットドア

3.【再生ボタン】を押して、テープを再生してください。

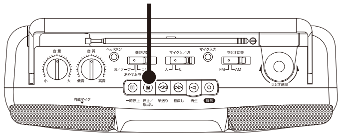
【本体上面】 再生ボタン



4. 再生を止めるには、【停止／取出しボタン】を押してください。

   ※テープを最後まで巻き取ると、自動的に止まります。

【本体上面】 停止／取出しボタン



■テープを聴く（つづき）

その他の機能

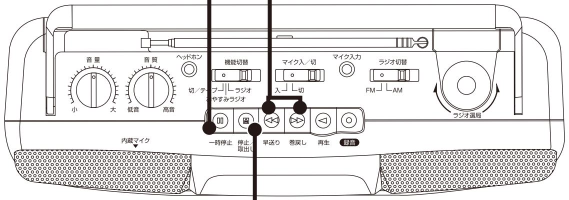
一時停止をする

もう一度押すと
再開します。

早送り／巻戻しをする

テープを巻き終えたら、【停止／取出しボタン】を押し、早送り／巻戻しを解除します。

※テープを最後まで巻き取っても自動的に止まりませんので、ご注意ください。



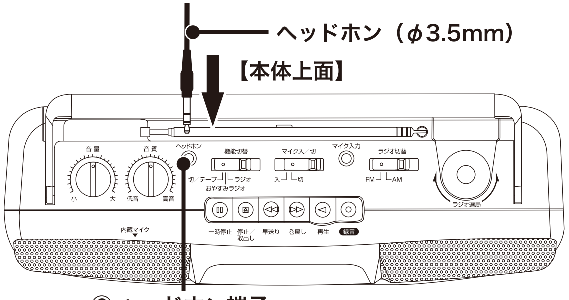
テープを取出す

再生を止める

テープを最後まで巻き取ると
自動的に止まります。

ヘッドホンで聴くには

市販のヘッドホン（φ3.5mm）を【ヘッドホン端子】につなぎます。

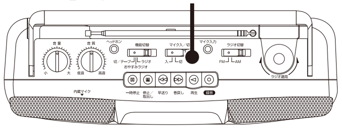


⑥ ヘッドホン端子

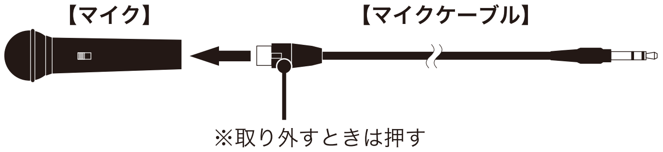
■マイクを使う

1. 本体のマイク入／切スイッチを【入】にしてください。

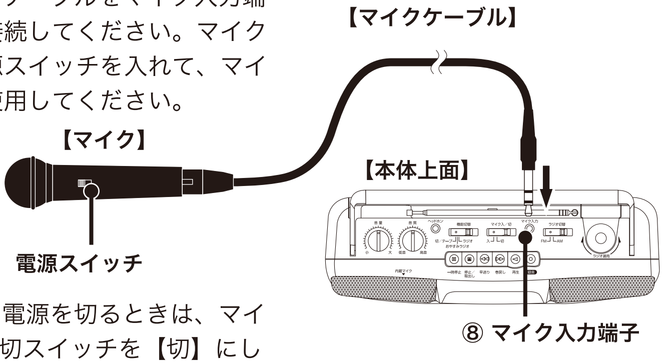
【本体上面】④ マイク入／切スイッチ



2. マイクとマイクケーブルを接続してください。カチッと音がするまで押し込んでください。



3. マイクケーブルをマイク入力端子に接続してください。マイクの電源スイッチを入れて、マイクを使用してください。

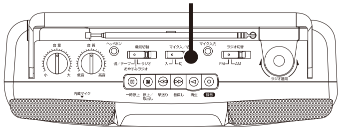


4. 本体の電源を切るときは、マイク入／切スイッチを【切】にしてください。

   ※マイク入／切スイッチが【入】のままですと、完全に電源は切れません。

   ※マイク使用後は、マイクの電源スイッチを必ず切ってください。

【本体上面】④ マイク入／切スイッチ

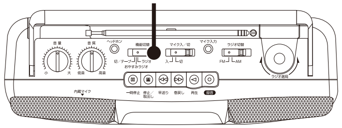


■録音する

〈ラジオを録音する場合〉

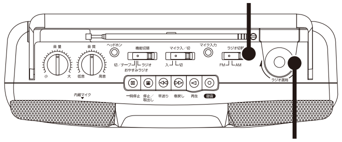
1. 機能切替スイッチを【ラジオ】に合わせてください。

【本体上面】　③ 機能切替スイッチ



2. ラジオ切換スイッチで【FM】あるいは【AM】に合わせて、ラジオ選局ダイヤルを回して、録音したい局に合わせてください。

【本体上面】⑤ ラジオ切替スイッチ



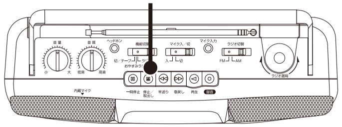
⑨ ラジオ選局ダイヤル

3. 【停止／取出しボタン】を押して、カセットドアを開けてカセットテープを入れます。

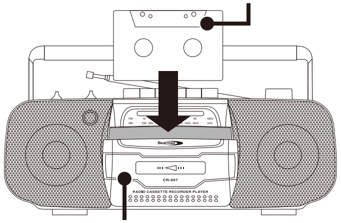
　※テープは、TYPE1（ノーマル）をお使いください。また、60分以上の長時間テープや、古いテープは絡まりやすいので使わないでください。

　※テープの弛みを直してから、お使いください。

【本体上面】　停止／取出しボタン



【本体前面】　露出面を上に



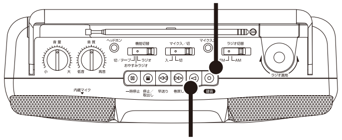
⑭ カセットドア

■録音する（つづき）

4. 【録音ボタン】を押して、録音を開始してください。【再生ボタン】が同時に下がります。

　※ツメが折られているテープの場合、【録音ボタン】が下がりません。また、テープが入っていない場合も【録音ボタン】は下がりません。

【本体上面】　録音ボタン

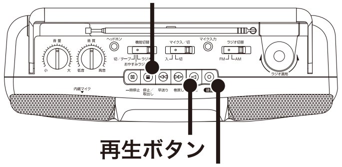


再生ボタン

5. 【停止／取出しボタン】を押して、録音を終了させてください。

　※テープを最後まで巻き取ると、自動的に止まります。【録音ボタン】と【再生ボタン】が自動的に上がります。

【本体上面】　停止／取出しボタン



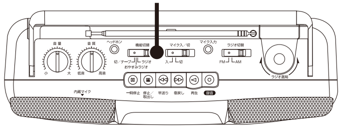
再生ボタン

録音ボタン

■録音する（つづき）

〈内蔵マイクで録音する場合〉

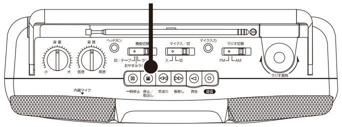
1. 機能切替スイッチを【テープ】に合わせてください。

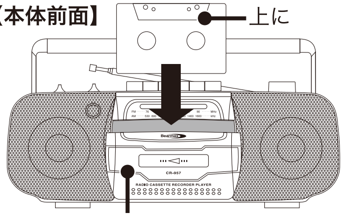


2. 【停止／取出しボタン】を押して、カセットドアを開けてカセットテープを入れます。

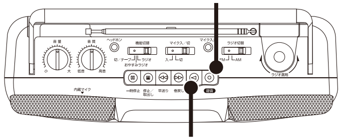
   ※テープは、TYPE1（ノーマル）をお使いください。また、60分以上の長時間テープや、古いテープは絡まりやすいので使わないでください。

   ※テープの弛みを直してから、お使いください。

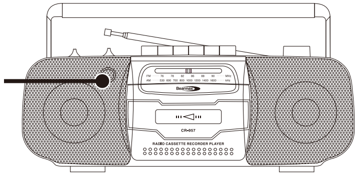




3. 【録音ボタン】を押して、録音を開始してください。【再生ボタン】も一緒に下がります。



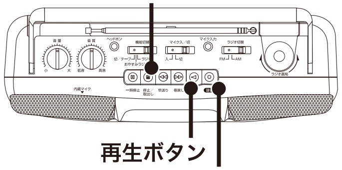
4. 内蔵マイクを使って録音したい音声を入れてください。



■録音する（つづき）

5. 【停止／取出しボタン】を押すと録音が終了します。

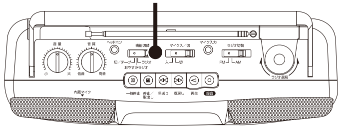
   ※テープを最後まで巻き取ると、自動的に止まります。【録音ボタン】と【再生ボタン】が自動的に上がります。



〈マイクで録音する場合〉

1. 機能切替スイッチを【テープ】に合わせてください。

【本体上面】

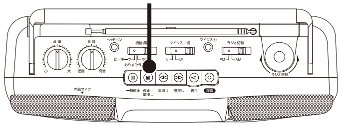


2.【停止／取出しボタン】を押して、カセットドアを開けてカセットテープを入れます。

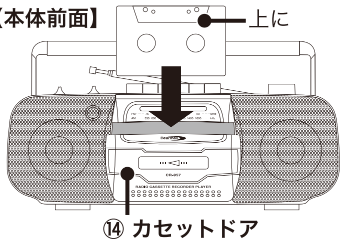
※テープは、TYPE1（ノーマル）をお使いください。また、60分以上の長時間テープや、古いテープは絡まりやすいので使わないでください。

※テープの弛みを直してから、お使いください。

【本体上面】

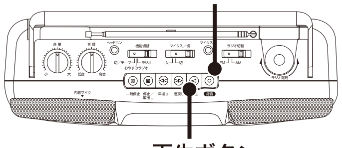


【本体前面】



3.【録音ボタン】を押してください。【再生ボタン】も一緒に下がります。

【本体上面】



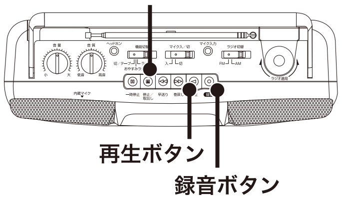
4. マイクを使って録音したい音声を入れてください。
（p.11「マイクの使い方」参照）

■録音する（つづき）

5.【停止／取出しボタン】を押して録音を終了してください。

※テープを最後まで巻き取ると、自動的に止まります。【録音ボタン】と【再生ボタン】が自動的に上がります。

【本体上面】



※ご注意

- 録音する時は、電池の消耗が早いので、電池ではなく電源コードのご使用をおすすめします。
- 音量調節ダイヤルを回しても、録音される音量は変わりません。
- 取り直しができない録音をする場合は、必ず事前に試し録りをしてください。
- 本機の不具合により、テープに録音ができなかった場合の録音内容の補償は、弊社では責任を負いかねます。

■故障かな？と思ったら

発売元にご相談になる前に、もう一度下記内容をご確認ください。
ご不明な点がある時は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

共通

症状	対処方法
電源が入らない	・電源プラグをコンセントに入れてください。 ・本体の電源コード差込口に電源コードを奥までしっかりと差し込んでください。 ・乾電池が正しく入っているか確認してください。 ・乾電池が消耗したら、新しい乾電池と交換してください。 ・充電電池は使用できません。 （p.6「準備する」参照）
音がひずむ	・本体をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。 ・音量を小さくしてください。

カセットテープ

症状	対処方法
テープが入らない	・テープの露出面を上にして入れてください。
テープが回転しない	・テープをカセットデッキに正しく入れてください。
テープが機械に巻きつく	・市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを掃除してください。（p.4「お手入れの仕方」参照） ・テープの弛みを直してからご使用ください。 ・古いテープは絡まり易くテープにダメージを与えますので、使用しないでください。 ・60 分以上のテープは使用しないでください。
早送り・巻戻しが遅い／回転むらがある	・テープの回転具合を確認し、回転の重いテープは使用しないでください。
再生音が小さい / 音が割れる / 高音が出ない / 雑音 / 音が震える / 音が飛ぶ	・市販のヘッドクリーナーでヘッドを掃除してください。（p.4「お手入れの仕方」参照） ・新しいテープと交換してください。

■故障かな？と思ったら（つづき）

カセットテープ（つづき）

症状	対処方法
録音状態にならない	・カセットデッキにテープが入っているか確認してください。 ・誤消去防止用ツメが折れている場合は、ツメのついているテープと交換をするか、セロハンテープなどでツメの穴を塞いでください。 ・市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。 ※無理に録音ボタンを押すと破損の恐れがあります。 （p.4「お手入れの仕方」参照）
前に録音されている音が完全に消えない	・TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム / ハイポジション、メタルテープは使用できません。

ラジオ

症状	対処方法
雑音が入る	・周波数を正しく合わせてください。 ・アンテナの向きを調節してください。（FM 受信時） ・本体の向きを調節してください。（AM 受信時） （p.7「ラジオを聴く」参照）

マイク

症状	対処方法
マイクの音が出ない	・マイク本体のスイッチを“入”にしてください。 ・マイクケーブルと本体のマイク入力端子を正しく接続してください。 ・本体のマイク入 / 切スイッチが“入”になっているか確認してください。 （p.11「マイクを使う」参照）
電池がすぐになくなる	・本体のマイク入／切スイッチが“切”になっているか確認してください。（p.11「マイクを使う」参照）